

少数台数のリコール届出の公表について（平成23年10月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成23年10月は3件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：マセラティ ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月 5日	外1783	車 名：マセラティ 型 式：ABA-MGTS 通称名：グラントゥーリズモS	4	平成22年12月11日～ 平成23年 2月12日
不具合の部位等	動力伝達装置（ディファレンシャルが一体構造のギアボックス）のプラネットギアにおいて、不適切に製造されたものがある。そのため、ホイールスピンの発生するような急発進を繰り返した場合、走行中にプラネットギアが破損して後輪がロックし、走行不能となるおそれがある。			

2. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月 6日	外1785	車 名：キャデラック 他 型 式：GH-X215 他 通称名：XLR 他	20	平成16年 1月13日～ 平成16年 4月12日
不具合の部位等	左右の燃料タンク接続部において、製造時に異物が混入したものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、接続部に亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。			

3. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
10月31日	外1792	車 名：ポルシェ 型 式：ABA-997MA170 通称名：911 ターボ	3	平成22年 3月23日～ 平成22年 6月 8日
不具合の部位等	マニュアルトランスミッション付車両のリヤ・ドライブシャフトのホイール側ジョイント部のインナ・レースにおいて、製造時の温度管理が不適切であったため、強度が不足しているものがある。そのため、急激な発進等を行った場合に、当該インナ・レースが破損し、ホイールへの動力伝達が行えないおそれがある。			

【参考】

●平成23年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	9 件 (- 1 4)	9 件 (- 9)	0 件 (- 5)
輸入車	1 0 件 (+ 6)	7 件 (+ 6)	3 件 (0)
計	1 9 件 (- 8)	1 6 件 (- 3)	3 件 (- 5)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成23年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	6(-19)	6(-2)	12(-21)	1,335(- 78,712)	3,757(+ 459)	5,092(- 78,253)
5	12(-4)	10(+4)	22(0)	465,720(+437,620)	6,040(-2,778)	471,760(+434,842)
6	23(-6)	9(-1)	32(-7)	396,008(-104,147)	719(-5,287)	396,727(-109,434)
7	15(-2)	6(-5)	21(-7)	73,797(-134,047)	3,930(-7,358)	77,727(-141,405)
8	9(+1)	4(+2)	13(+3)	5,343(- 3,275)	1,671(+1,661)	7,014(- 1,614)
9	32(+11)	7(-3)	39(+8)	359,636(-447,784)	12,921(+7,053)	372,557(-440,731)
10	9(-14)	10(+6)	19(-8)	289,327(-2,155,338)	28,240(+27,288)	317,567(-2,128,050)
小計	106(-33)	52(+1)	158(-32)	1,591,166(-2,485,683)	57,278(+21,038)	1,648,444(-2,464,645)

※ () 内は、対前年比